

岩合光昭の世界猫歩き

動物写真家、岩合光昭さん（東京）のギャラリートークが5月16日、文化ギャラリーで開かれました。



開催中の同名写真展に合わせて来町しました。NHKテレビ、BSプレミアム放送の番組「岩合光昭の世界ネコ歩き」に出演している世界各地の猫たちが

岩合さんによって東川に写真で初登場。撮影時の裏話の数々に満場の来場者から笑いが。「名前覚えていないんだよ」と話しながら、最初に登場したのは「表紙の猫の名はガゼット。猫歩きが始まった2012年、フランスのプロバンスで出合った猫は、「くるつと後ろを向いてお尻の下に蛇を敷いてしまったんだ。よほど自分のものにしたかったんだね」。

次に登場したのは、ベルギーで出合った猫。まったくの偶然だったと言います。「集合住宅の中庭が開いていて、のぞいているとおばあさんが出てきた。きれいな英語で『お入りなさい。うちに

はいっぱい猫がいますよ」。すると子猫たち5匹が次々と出てきた。その後お母さん猫のオルガが出てきて、いきなりペロペロと僕をなめ始めた。僕の中には子猫を撮る時の鉄則があつて、必ず母親の許可を取ることになっているんです。母親が「ニャー」と鳴いてく

れたので、許可が出たと思つて撮ることが出来た」などユーモアたっぷりの話が満載の楽しいひと時を演出しました。

インドネシア伝統の染め、パティック教室



5月15日、せんとびゅあー（旧名文化芸術交流センター旧東川小学校舎）のコミュニティホールで、インドネシア伝統のろうけつ染め、パティックの作り方を教えるワークショップを開きました。インドネシアから来ているCIR（国際交流員）

のフアテイさん（フアティ・シテイ・フアティマさん）を講師に、独特のデザインが美しい染色技法を学びました。パレオ、スカーフ、ハンカチとして使われ、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化財に認定されています。

す。下絵に沿って温めた蠟で布生地をなぞってデザインを描き起こし、綿棒とブラシで色を変えながら着色しました。布全体の背景にも色づけし、乾燥後に色落ち防止の水ガラスを塗って完了。最後に熱湯にくぐら

海外誘客本部新設、東アジア地域交流促進協会で

5月17日、役場で本年度の東川町東アジア地域交流促進協議会（会長・松岡市郎町長）の総会を開き、「海外誘客推進本部」を新たに設けることになりました。

関係団体、7カ国7人の町CIR（国際交流員）ら約40人が出席しました。

本年度計画として○台湾、韓国、中国、タイ、ベトナム、インドネシア、ウズベキスタンの各国語学研修生、留学生の受け入れ、支援○体験観光○研修事業○海外観光客の受け入れ○映像制作プロモーションの受け入れ○高校生国際交流



写真フェスティバル○写真甲子園映画の海外上映などを合意しました。海外アドバイザーを招集せずに開催しました。韓国、台湾、タイ、中国、ベトナム各国で委嘱してきた海外アドバイザーは本年度限りで委嘱を解いて廃止することを了承しました。